

太郎助山山行記録



太郎助山

残雪急登

ヤブコギ登高

目的地	太郎助山 (毛猛山途中撤退)	期 日	平成23年5月4日 (水) : 晴~曇り~晴 / (前日現地入り)
山行人	高橋誠一・高橋かよ子・加藤イツ子・伴場ちづ子・清水良次・増田 久・笠原正雄		

地名	時刻	記 事
入広瀬道の駅	3日 2:30 集合	R252 は大白川駅の先で冬季閉鎖。電動アシスト自転車で7人用と2人用テントを運ぶ。6人は5kmの舗装道をおよそ1時間15分の徒歩。
幕 営 泊	7時ころ就寝	足沢手前の雪覆洞の路上に2つ張る。持ち寄りでの前夜祭をする。
R252 幕 営 地	4日 5:10 出発	鉄道鉄橋を渡り、硬い雪に上がりアイゼンを履く。早速の急登である。H542 に向かう左の夏道尾根に上がりアイゼンを脱ぐ。しばらく急登の後、壺足での雪登りとなる。
雪緩斜面で休む	6:05~6:15	広い雪面の登りが続く。標高650あたりで休む。H762は通過する。
ヤブ尾根	6:30	再び剥げた尾根道、薄いヤブだがザックの物が枝に引掛かる。太郎助山が見えて来る。
やせ尾根	7:15	左が切れ落ちている。松の木に掴りながら通過する。この後ピークで山を眺める。
雪尾根を上がる	7:35	急登に雪がついている。少しやせているが、軟雪で問題は無い。
ブロック通過	7:45	一塊が落ちていった。僅かブロックを縫う。次いで雪の壁下を歩く。
足 沢 山	8:10~8:20	手前の雪上にテント1張あった。ピーク西側に三角点が露出していた。
ピッケルを持つ	8:50	雪下りを経てヤブコギが始まる。ピッケルに替えたが、ダブルストックの方が歩き易い。20分程でストックに戻す。約1m幅の雪割れを飛び越える。雪と藪と交互。
大きい雪の亀裂	9:50	雪が割れていたり途切れたりして何度も藪に戻される。雪歩きより藪の時間が長い。
太 郎 助 山	10:30~12:10	ここまでとする。風がやや強く寒い。進路を阻む雪を掘るためにスコップを持参したのだが、それで雪を掘りランチ場を作る。曇りだが毛猛山ははっきり見えてまだ遠い。
足 沢 山	14:00~14:20	日差しを受けて暖かくなった。地図を広げて山を見る。三山は霞んでいる。
足沢対岸で雪崩	15:00	大規模な雪崩。数分続く。後に地図で調べたが300m程の落差である。
シリセード	15:15	上山時より上で尾根を降りて、雪斜面を下る。
雪緩斜面で休む	15:50~16:00	同じ場所ですら休む。ランチで使い過ぎて、皆が飲み水を絶やしてしまう。
R252 幕 営 地	16:30	H542 から左に進み右の雪に下りる。上山時と少し違ったルートだ。雪がまだ硬い所があり、滑らぬように廻り込みながら下る。テントを荷造りし帰路へ。
舗装国道歩き	17:00~18:15	自転車前輪のパンクで空気が抜けていた。乗らずに引いて進む。道の駅で解散。

高橋さんが毛猛山を気に掛けておられた。今年は大雪で R252 の開通が遅れている。遅くなれば山の雪消えが進んで行けなくなる。一方、Kと矢筈岳の計画を持ったが、予定していた日が天候不順で行けず、急遽この山に行くことにした。多雪で楽に進めるかと思ったが、雪の付き具合は昨年より良くなかった。条件が整わないとなかなか難儀な山だ。